

令和7年9月11日

(一財) 3.11 伝承ロード推進機構



台湾の台南市教育関係者を招請した アンケート結果がまとまりました。

当機構では、台湾においても震災伝承施設を防災教育に活用していただくため、台湾の教育関係者を招請し、震災伝承施設等に案内する事業を行っています。このたび、招請事業に参加者した台南市教育関係者のアンケート結果がまとまったので報告します。

1. 招請事業概要

- 1) 期間 令和7年5月20日(火)～令和7年5月24日(土) 4泊5日
- 2) 行程 宮城県/仙台空港→多賀城市→松島町→南三陸町→岩手県/陸前高田市→花巻市→平泉町→一関市→宮城県/仙台市→名取市→仙台空港
- 3) 参加者 台南市立大彎高級中學、國立臺南家齊高級中等學校、國立會文高級家商職業學校、
國立臺南第一高級中等學校、國立臺南第二高級中學、國立臺大學附屬高級中學の教育者6名
- 4) 訪問先(カテゴリー別)
 - 震災学習 松島湾復興語り部クルーズ、南三陸 3.11 メモリアル、語り部による南三陸町見学、
東日本大震災津波伝承館、高田松原復興津波祈念公園
 - 教育セミナー 南三陸町教育旅行セミナー、陸前高田市教育旅行セミナー
 - 学校交流 松島高校(生徒による松島ガイド)、一関第一高校
 - 施設見学 特別史跡・多賀城跡、陸前高田ワタミオーガニックランド、世界遺産中尊寺

2. アンケート結果のポイント

- 1) 招請事業に対する参加者評価
 - 教育的価値が高い訪問先が多く、体験学習や交流ができる訪問地が多い。
 - 東日本大震災の前後、復興に向けて政府や民間の努力について理解ができた。
- 2) 教育旅行への意見等(参加者の自由記載)
 - 東北地域は震災教育ができて、教育旅行としての地域に適していると思う。
 - 自然が豊か、海洋、農業の分野での学習が出来ることが魅力。
 - 合理的にスケジュールを組むことで、さらに効率的に学習ができると思う。
- 3) まとめ
 - ・震災学習に関して、「命の大切さを実感できるプログラムが多い」「自然の力の恐ろしさがわかり、生命教育、防災教育にとって良い教材」。
 - ・学校交流に関して、「同じ高校生の案内で歴史・文化・風習を学び生徒同士の交流深化に繋がる機会となる」。

【アンケート結果は別添資料 参照】

《発表記者会 宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会》

----問い合わせ先----

一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構 宮城県仙台市青葉区本町三丁目2-26)
原田吉信 TEL: 022-393-4261

台湾 教育関係者招請事業 台南市教育者アンケート結果



実施期間：令和7年5月20日～24日（4泊5日）

1. 行程表・参加者
2. カテゴリー別「魅力的な点」と「改善点」
3. 招請事業に対する参加者評価
4. 東北における教育旅行への意見等
5. まとめと考察

(一財)3.11伝承ロード推進機構

1. 行程表・参加者

[行程表]

3.11伝承ロード推進機構 台南市教育旅行招請事業 (2025年5月20日～5月24日)							
①	月日	地名	到着時刻	出発時刻	交通機関	日 程	食事
①	5/20 火	桃園空港		10:05	BR118	空路仙台空港へ	昼食：機内
		仙台空港	14:35	15:15	専用車	仙台空港空港到着後、専用車にて多賀城市へ	
		多賀城市	15:45	16:45		●特別史跡・多賀城跡見学【特別史跡】 (ガイダンス施設・復元南門・政庁跡)	
②	5/21 水		17:00			□松島に宿泊	夕食：ホテル
		松島町	8:00	8:50	専用車	専用車にて松島へ	朝食：ホテル
			9:00	9:50	クルーズ	●語り部クルーズ(丸文松島汽船)【震災学習】	
③	5/22 木		10:00	12:00	徒歩	●松島高校の生徒さんの案内で松島見学【学校交流】 (福浦橋・五大堂・瑞巖寺・李登輝俳句碑・円通院)	
		南三陸町	12:50	14:10	専用車	●洗心庵にて昼食	昼食：洗心庵
			15:20	16:00		●南三陸町ラーニングプログラム(南三陸311メモリアル)【震災学習】60分	
④	5/23 金		16:00	17:00		●さんさん商店街散策	夕食：ホテル
			17:10	17:10		●南三陸町教育旅行セミナー(南三陸ポータルセンター)	
						□南三陸町に宿泊	
⑤	5/24 土	南三陸町	8:30	9:00	専用車	●語り部バスによる町内見学【震災学習】 旧戸倉中学校(現戸倉公民館)～南三陸病院(石碑)～旧防災対策庁舎	朝食：ホテル
		陸前高田市	11:25	12:50		●ワタミオーガニックランド(視察・昼食)【SDG's・体験プログラム】	
			13:00	14:30		●高田松原津波復興祈念公園【震災学習】 (東日本大震災津波伝承館・道の駅高田松原・奇跡の一本松等)	昼食：ワタミオーガニックランド
⑥	5/25 日		14:40	15:50		●陸前高田市教育旅行セミナー (岩手県立高田松原津波復興祈念公園管理事務所)	
		花巻温泉	17:00	17:15		休憩：道の駅とうわ	夕食：ホテル
			17:45			□花巻温泉に宿泊	
⑦	5/26 月	花巻温泉	8:30		専用車	専用車にて平泉へ	朝食：ホテルにて
		平泉町	9:20	11:45		●世界遺産平泉(中尊寺・毛越寺)見学【世界遺産】	
			12:00	12:45		●芭蕉館にて昼食	
⑧	5/27 火	一関市	13:10	14:30		●岩手県立一関第一高等学校訪問【学校交流】	昼食：芭蕉館
		仙台市	16:00	17:00		●震災伝承ネットワーク協議会(東北地方整備局)【表敬訪問】	
			17:30	18:15	タクシー	□仙台国際ホテルにチェックイン後、タクシーで市内レストランへ	夕食：仙台市内
⑨	5/28 水		18:30	20:00		市内レストラン夕食	
			20:15			□仙台市内ホテルに宿泊	
		仙台市	8:20	8:30	徒歩	徒歩にて仙台朝市見学	朝食：ホテルにて
⑩	5/29 木		9:00	9:10	専用車	●仙台朝市【散策】	
			9:15	9:40		ホテルに戻り、専用車にて仙台市内見学	
			10:20	10:45		●仙台北城跡【日本遺産】	
⑪	5/30 金	名取市	11:30	12:10		●商店街散策【降車：定禅寺通 乗車：広瀬通】	昼食：自由食
			14:00	14:15		●イオンモール名取【昼食・買物】	
		仙台空港	14:15	16:05	BR117	空路帰国の途へ	夕食：機内
⑫	5/31 土	桃園空港	18:55				

[参加者]

1. 臺南市立大湾高級中学 周東慶 主任
2. 國立臺南家齊高級中学 朱靜汶 秘書
3. 國立曾文高級家事商業職業學校 黃淑蘭 主任
4. 國立臺南大學附属高級中学 陳森杰 校長
5. 國立臺南第一高級中学 廖財固 校長(団長)
6. 國立臺南第二高級中学 林晏旭 校長
- <主催関係者>
7. 3.11伝承ロード推進機構 原田吉信 理事
8. 3.11伝承ロード推進機構 佐藤勝也 部長
9. 通訳案内士 大内 翠
10. 添乗員 (近畿日本ツーリスト(株)仙台支店)

2. カテゴリー別「魅力的な点」と「改善点」

〔震災学習〕

施設等	参加者 おすすめ	主な魅力的な点	主な改善点
松島湾復興語り部クルーズ（丸文松島汽船）	●	・松島の景色や歴史文化について勉強できた。 ・語り部さんとの双方向的なコミュニケーションが良かった。 ・震災による被害と影響についてお話が聞けた。 ・島々に名称がついていて、見る価値がある。 ・乗船自体はすでに魅力がいっぱい、中国語のアナウンスが良かった。語り部さんのご自身の体験を含めた震災についてのお話が素晴らしかった。	・中国語や英語での説明を増やしてほしい。 ・費用は高い？
南三陸311メモリアル（ラーニングプログラム）	●	・「命の大切さ」を実感できるプログラム ・生徒の防災意識を高めることができると思う。 ・震災当時のリアルな映像を通じて、反省も含めて防災意識を高めることができると思う。 ・高度な教育効果がある施設、印象深い映像が大自然のパワーが伝わる ・プログラム中には教訓から得られた問いかけと反省が良い。	・人数が多い場合、討論時間を配慮（延長）したほうが良い ・多言語対応サービスの強化、AR展示の活用など ・年齢別のラーニングプランの設定
語り部による南三陸町見学（旧戸倉中・南三陸病院・旧防災対策庁舎）	●	・自然の力の恐ろしさがわかり、生命教育、防災教育にとって良い教材。 ・具体的な防災教育プランが見えた。日台友好がより深まることを期待できる。 ・実際に被災した方と接し、教訓を生かすことができると思う。 ・ゴールデンタイムを逃さず、早めの避難の重要性についての理解ができる。 ・南三陸病院は日台友好の証。 ・台日友好牌“絆”・旧戸倉中学校	・お話を聞くだけでなく、一緒に取り入れるプログラムがあると良い。 ・南三陸病院内の見学ができたら良い
東日本大震災津波伝承館	●	・今回の行程の中で一番良かった。教育的効果の高い施設だと思う。 ・パネルや映像を中心とした展示を通して、「命を守り、海と大地と共に生きる」について勉強ができること。 ・展示物を通して、震災の威力や震災後の復興の大変さについてよく伝わったと思う。 ・実際の模型や写真を通して、震災学習ができる。 ・各展示館、ガイダンスシアター	・多国言語サービスの向上
高田松原津波復興祈念公園	●	・被災したホテルや奇跡の一本松を実際に生で見て、改めて自然と人類の共生の重要性を考えるようになる。 ・実際に公園を訪ね、奇跡の一本松を実際に生で見て、改めて復興に対する強い意志が感じられる。 ・地域の住民が防災のための努力が見え、生徒さんの防災意識の向上に繋がると思う。 ・実際に消えた松林お話を聞き、被災したホテルや奇跡の一本松を実際に生で見て、改めて自然の力が感じられる。	・学習プログラムの提供があると良い

2. カテゴリー別「魅力的な点」と「改善点」

[教育旅行セミナー]

施設等	参加者 おすすめ	主な魅力的な点	主な改善点
南三陸町教育 旅行セミナー	●	・教育旅行プランが参考できる ・内容が魅力的かつ具体的 ・民宿の整備 ・台湾の高校を三校も受けた経験があるところ	・沢山の台湾の学校に、南三陸町のしっかりした教育旅行受入れ体制を広めたほうがいい、きっと皆が来たいと思う。
陸前高田市教育 旅行セミナー	●	・陸前高田市の教育旅行モデルコースについて討論ができてよかった。 ・陸前高田市のモデルコース等の資料がもらえた。 ・陸前高田市の教育旅行への取り込みの熱心さが伝わる。 ・津波伝承館、ワタミ	・特に学校交流の部分について早めに計画したほうが良いと思う。 ・次回、野外活動体験があると良い。 ・学習プログラムの提供やイベントがあると良い

[学校交流]

施設等	参加者 おすすめ	主な魅力的な点	主な改善点
松島高校（生徒による松島ガイド）	●	・高校生同世帯間の交流が良かった、コミュニケーションが取れて教育効果が高い。 ・松島高校の生徒さんたちが普段学校で準備した内容をうまく生かし、歴史への認識を深めることができた。 ・松島高校の生徒さんたちの素晴らしいご案内のおかげで、ストーリー性のある親近感があふれる良いツアーに仕上げた。 ・松島高校の生徒さんたちはシャイでありながら自然体でよかった。同世帯の交流が図れる。	・通訳を介さず、直接簡単な英語やジェスチャーを使って、コミュニケーションを取ってもらうことで、語学面の成長も期待できると思う。 ・参加型イベントを企画してほしい、例えば：クイズを出して、相互にコミュニケーションを図る等。 ・地図や古い写真を活用すると良い。
岩手県立一関 第一高校	●	・学校交流への積極性を感じた ・英語の授業の見学では生徒に素晴らしい英語力が身につけており、学校としての優秀さを知ることができた ・中学校ともつながっており幅広く学生交流ができる	・周辺にも学校交流ができる学校があるとよい ・ぜひ台南にも来てほしい

2. カテゴリー別「魅力的な点」と「改善点」－施設見学－

[施設見学]

施設等	参加者 おすすめ	主な魅力的な点	主な改善点
特別史跡・多賀城跡	●	・日本の歴史、文化及び震災後の再建等について議題を上げられる、教育効果が高いと思う。 ・松島の自然や歴史学習について勉強ができる。 ・歴史教育的効果が高い、遺跡の現場を通して日本の行政制度について理解が深められる。 ・遺跡について学習するとともに、歴史や地理、美術にも触れることができる。	・国宝とはいえ、台湾の学生は日本の歴史や地理について理解不足で、なかなか共感できないと思う。受け入れやすい施設（コンテンツ）との組み合わせを考えたほうがいいかもしれない。 ・見学のみ（体験なし）のコースだと受け入れにくい、多言語サービスの強化、AR,VRを生かしたコンテンツの開発が必要だと思う。 ・生徒がゆったりとした空間で見学や自主学習ができるように、休息処を設置したほうがいいと思う。 ・復元中だったので、残念だった。 ・学習プログラムの提供、イベントに合わせるとなお良い
陸前高田ワタミオーガニックランド	●	・DIY体験は教育旅行にピッタリだと思う。 ・SDGSを学習できる見学 ・農業体験、手作りハンバーガー体験 ・オーガニック農作は興味深い。	・多言語コンテンツが欠如 ・一部の生徒さんにとってボリューム不足かもしれない ・雨天の場合の代案があると良い。男子生徒にはボリューム的にはちょっと少ない、何かを（食パンとか）足したほうがいいかもしれない。 ・ハンバーガー以外に飲料の手作りも考えられる
世界遺産中尊寺	●	・金色堂の歴史や芸術の価値が高い ・世界文化遺産について勉強になる ・SDGSというテーマと組み合わせたプログラムもよいと思う。 ・世界文化遺産、訪れる価値がある藤原氏将軍の功績についての勉強ができる。 ・75歳のガイドさんの解説内容が充実で素晴らしかった、優れた体力に脱帽	・多言語コンテンツの充実。 ・移動距離が長い ・低学年の生徒さんにとって魅力が感じにくいかもしれない

3. 招請事業に対する参加者評価

■ 5段階評価（参加者6名の平均）

〈5：非常にそう思う 4：そう思う 3：どちらとも言えない 2：思わない 1：全く思わない〉

1) 教育的価値が高い訪問先が多い	5.0
2) 体験学習や交流ができる訪問地が多い	5.0
3) 自然が豊かで景色を楽しむことができる	4.8
4) 文化施設が豊富で、日本の伝統文化を知ることができる	4.1
5) 食文化が豊富	5.0
6) 温泉が豊富	5.0
7) 買い物を楽しむことができる	4.8
8) 文化体験プログラムが豊富	5.0
9) バスや車での移動がしやすい	5.0
10) 公共交通機関が発達している	4.6
11) 観光地、観光資源が豊富で教育旅行に適している	5.0
12) 受入環境が整っている	5.0

■ 良いイメージ

- 東日本大震災の前後、復興に向けて政府や民間の努力について深く理解ができた。
- 素晴らしいコース内容で効率的でありスムーズだった。
- 温泉施設は整備されていて快適な環境が整っている。食事や行程のアレンジも素晴らしい。
- 可能であれば、探求学習として仙台市内での自由行動時間を生徒さんに与えたい。

■ 悪いイメージ

- 東北地方は冬だと寒すぎるのではないかな。
- 南三陸町、岩手県、陸前高田市の三か所に関しては、受け入れの高校をもっと増やしてほしい。

4. 東北における教育旅行への意見等

■参加者による自由記載

- 東北は教育旅行に適していると思う、コストが安いのもメリット。
- 自然が豊か、海洋、農業の分野での学習ができることが魅力的。
- 合理的にスケジュールを組むことで、さらに効率的に学習ができると思う。
- 東北を訪ねることで、日台の絆を深めることに繋がると思う。
- とても素晴らしいおもてなしに感謝、良い思い出となった。
- 東北地域は震災教育ができて、教育旅行としての地域に適していると思う。
- 松島は日本三景の一つとして、遊覧船は訪ねる価値があると思う。
- 台湾の教育旅行としての地域に適していると思う
 - 理由①東北地域は生徒さんにとって新鮮である
 - ②震災学習を通して、防災意識を高めることができる
 - ③防災教育のラーニングプログラムが十分に整備されていて、学習効果が期待できる
- 何日間の東北の視察を通して、再び認識を深めました。今後実際に生徒とともに訪ねることを期待している。
- 福島県、宮城県、岩手県各地の震災伝承館を巡り、防災減災の重要性が学べる。
 - また、ホームステイを通して、地元住民と交流を図ることも魅力的。
- 豊かな温泉資源に恵まれている東北地域では、十分に温泉文化が楽しめると思う。
- 自然風景や文化施設と組み合わせた教育旅行プランができそう。
- 山形の観光スポットを入れてもよい
- 探求学習として仙台市内での自由行動時間を生徒さんに与えたいが、交通の便は良い？
- 陸前高田ワタミオーガニックランドに関して、体験項目をさらに増やしたほうが良い。
- 南三陸町も陸前高田市も東日本大震災による甚大な被害を受けた地域であり、記念館や伝承館を訪ねる価値があり、関東や関西では体験ができない内容になる。
- 当地の方は台湾人にとっても親切、民宿等も人気である。
- 海鮮等の食事がとても良い、例えば：松島のカキ、南三陸の鮑

5. まとめと考察

5日間の日程で、台湾台南市高級中学の先生を6名招請し、宮城県、岩手県の震災伝承施設や国際交流に実績や関心のある高等学校、観光地等を訪問した。また、4泊5日という限られた行程で全ての施設を案内できないことから、南三陸町と陸前高田市において教育旅行セミナーとして地域の受入事業者による説明会を実施した。

【アンケートのまとめ】

◆震災学習に関して、「命の大切さを実感できるプログラムが多い」「自然の力の恐ろしさがわかり、生命教育、防災教育にとって良い教材」。◆学校交流に関して、「同じ高校生の案内で歴史・文化・風習を学び生徒同士の交流深化に繋がる機会となる」。◆見学施設に関して、「SDGsプログラムを受けれること、世界遺産から歴史的価値を発見する機会となる」。◆宿泊施設においては、「景観や施設食事のすばらしさ、温泉が体感できる」といった教育旅行のニーズに沿った評価をいただいた。また、行程エリアに対する評価においては、買物を楽しめる場所や学校交流の受入可能な学校の少なさにやや課題があるものの、教育的価値が高い施設が多い点、震災学習やSDGs学習などの訪問地が多い点では、参加者全員が最高点をつけた。教育旅行としての訪問が見込めるかの設問に対しては、「東北には震災学習やSDGs学習がある他にも世界遺産など風土の感じられる施設もあるため、教育的価値が高いエリアである」との評価をいただいた。

【考察】

参加者の意見から、行程のエリア及び内容が台湾からの教育旅行の目的に合致していることが分かった点は、今後の誘致拡大に大きな自信となった。一方で、広い東北において、震災伝承・学校交流、各種体験・歴史文化施設の学習・見学など台湾のニーズを効果的、効率的にスケジュール化し、教育旅行の価値の最大化を図る必要がある。そのためには、台湾の学校や旅行会社に委ねるだけでなく、当機構を含め自治体や観光協会、各施設の連携サポートが必要である。また、ガイドを含めた受入体制の重要性についても再認識した。

以上を踏まえ、台湾からの教育旅行の誘致拡大のため以下の取組みを継続する必要がある。

1. 台湾の高級中学のニーズや考え方を各施設と共有すると共に、中国語の案内パンフレットや表示、中国語対応スタッフの育成等、受入環境のさらなるブラッシュアップを図る。
2. 多くのツアーガイドが必要となる教育旅行において、ツアーガイド人材の視野を広げレベルアップを図る。
3. 台湾の高級中学、および教育旅行を主なターゲットとする台湾の旅行会社に対するプロモーションを継続する。
4. 学校のニーズや日程に合わせたモデルコース等、東北各地を周遊する提案力の強化を図る。
5. 自治体、観光協会等との連携を強化する。